

## インデックスファンドMLP（毎月分配型）

### 運用報告書（全体版）

第77期（決算日 2020年6月22日）第79期（決算日 2020年8月20日）第81期（決算日 2020年10月20日）  
第78期（決算日 2020年7月20日）第80期（決算日 2020年9月23日）第82期（決算日 2020年11月20日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「インデックスファンドMLP（毎月分配型）」は、2020年11月20日に第82期の決算を行ないましたので、第77期から第82期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

#### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産／インデックス型	
信託期間	2014年2月18日から2028年11月20日までです。	
運用方針	主として、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）やMLPに関連する証券を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、MLP市場の動きをとらえる指数（S&P MLP指数（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	インデックスファンドMLP（毎月分配型）	投資信託証券を主要投資対象とします。
	インデックス マザーファンド MLP	MLPやMLPに関連する証券を主要投資対象とします。
	マネー・アカウント・マザーファンド	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	インデックスファンドMLP（毎月分配型）	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	インデックス マザーファンド MLP	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マネー・アカウント・マザーファンド	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。
分配方針	第1計算期および第2計算期は収益分配を行ないません。第3計算期以降は、毎決算時、原則として分配対象額のかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<642282>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P MLP 指数 (円換算ベース)		債券 組入比率	投資信託 組入比率	リミテッドパートナー (出資金) 組入比率	純資産額			
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰					中 落	率	率
	円		円		%	%	%	%	百万円			
53期(2018年6月20日)	5,472		50	△	1.7	85.92	△	1.5	56.7	—	31.3	19,474
54期(2018年7月20日)	5,717		50		5.4	90.84		5.7	56.8	—	32.8	19,704
55期(2018年8月20日)	5,864		50		3.4	94.78		4.3	55.3	—	33.4	19,644
56期(2018年9月20日)	5,760		50	△	0.9	93.79	△	1.0	52.9	—	35.9	18,820
57期(2018年10月22日)	5,572		50	△	2.4	91.56	△	2.4	52.8	—	36.4	17,872
58期(2018年11月20日)	5,109		50	△	7.4	85.08	△	7.1	54.6	—	35.5	16,019
59期(2018年12月20日)	4,699		50	△	7.0	78.86	△	7.3	54.9	—	34.6	14,358
60期(2019年1月21日)	4,915		50		5.7	83.83		6.3	54.6	—	37.7	15,088
61期(2019年2月20日)	5,185		50		6.5	88.88		6.0	53.2	—	37.6	15,759
62期(2019年3月20日)	5,182		50		0.9	90.09		1.4	52.5	—	37.6	15,318
63期(2019年4月22日)	5,078		50	△	1.0	89.42	△	0.7	52.2	—	37.7	14,735
64期(2019年5月20日)	5,035		50		0.1	89.61		0.2	52.8	—	37.3	14,456
65期(2019年6月20日)	4,721		50	△	5.2	85.09	△	5.0	53.0	—	37.2	13,383
66期(2019年7月22日)	4,848		50		3.7	88.52		4.0	53.0	—	37.1	13,611
67期(2019年8月20日)	4,439		50	△	7.4	82.25	△	7.1	52.3	—	37.2	12,444
68期(2019年9月20日)	4,545		50		3.5	85.30		3.7	51.6	—	39.1	12,700
69期(2019年10月21日)	4,216		50	△	6.1	80.03	△	6.2	50.9	—	39.7	11,698
70期(2019年11月20日)	3,804		50	△	8.6	73.59	△	8.0	51.4	—	38.9	10,193
71期(2019年12月20日)	4,142		50		10.2	81.35		10.6	50.0	—	42.1	11,861
72期(2020年1月20日)	4,270		50		4.3	84.83		4.3	49.2	—	42.2	12,392
73期(2020年2月20日)	3,918		50	△	7.1	77.90	△	8.2	38.7	—	30.2	12,387
74期(2020年3月23日)	1,840		50	△	51.8	36.17	△	53.6	41.0	—	41.1	5,953
75期(2020年4月20日)	2,189		20		20.1	42.93		18.7	32.4	22.4	39.3	8,486
76期(2020年5月20日)	2,673		20		23.0	53.19		23.9	33.0	22.7	42.6	10,737
77期(2020年6月22日)	2,789		20		5.1	56.20		5.7	36.8	16.3	45.1	9,766
78期(2020年7月20日)	2,452		20	△	11.4	49.68	△	11.6	39.9	14.1	43.9	8,959
79期(2020年8月20日)	2,531		20		4.0	51.89		4.4	40.6	14.6	42.6	9,221
80期(2020年9月23日)	2,157		20	△	14.0	44.47	△	14.3	41.2	13.9	43.3	7,706
81期(2020年10月20日)	2,212		20		3.5	46.16		3.8	41.2	14.1	42.5	7,838
82期(2020年11月20日)	2,547		20		16.0	54.30		17.6	43.7	11.6	42.9	8,433

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「リミテッドパートナー（出資金）組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「S&P MLP 指数」は、ニューヨーク証券取引所やNASDAQなどに上場するMLPなどのうち、GICS（世界産業分類基準）においてエネルギーセクターまたは公益事業セクターのガス産業に属する銘柄を対象とした、浮動株調整後の時価総額加重を基本とする指数です。同指数の（円換算ベース）とは、日興アセットマネジメントが公表指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2020年11月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		S & P M L P 指数 (円換算ベース)		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	リミテッドパートナー (出資金) 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
第77期	(期首) 2020年5月20日	円	%	53.19	%	%	%	%
	2020年5月20日	2,673	—	53.19	—	33.0	22.7	42.6
	5月末	2,793	4.5	55.74	4.8	33.1	22.5	43.2
第78期	(期末) 2020年6月22日	2,809	5.1	56.20	5.7	36.8	16.3	45.1
	(期首) 2020年6月22日	2,789	—	56.20	—	36.8	16.3	45.1
	6月末	2,525	△ 9.5	50.70	△ 9.8	39.4	15.9	43.1
第79期	(期末) 2020年7月20日	2,472	△11.4	49.68	△11.6	39.9	14.1	43.9
	(期首) 2020年7月20日	2,452	—	49.68	—	39.9	14.1	43.9
	7月末	2,422	△ 1.2	49.09	△ 1.2	39.9	14.6	43.4
第80期	(期末) 2020年8月20日	2,551	4.0	51.89	4.4	40.6	14.6	42.6
	(期首) 2020年8月20日	2,531	—	51.89	—	40.6	14.6	42.6
	8月末	2,448	△ 3.3	50.28	△ 3.1	40.2	15.2	42.8
第81期	(期末) 2020年9月23日	2,177	△14.0	44.47	△14.3	41.2	13.9	43.3
	(期首) 2020年9月23日	2,157	—	44.47	—	41.2	13.9	43.3
	9月末	2,138	△ 0.9	44.20	△ 0.6	41.1	14.0	43.4
第82期	(期末) 2020年10月20日	2,232	3.5	46.16	3.8	41.2	14.1	42.5
	(期首) 2020年10月20日	2,212	—	46.16	—	41.2	14.1	42.5
	10月末	2,156	△ 2.5	45.08	△ 2.3	42.4	13.3	42.2
第82期	(期末) 2020年11月20日	2,567	16.0	54.30	17.6	43.7	11.6	42.9

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

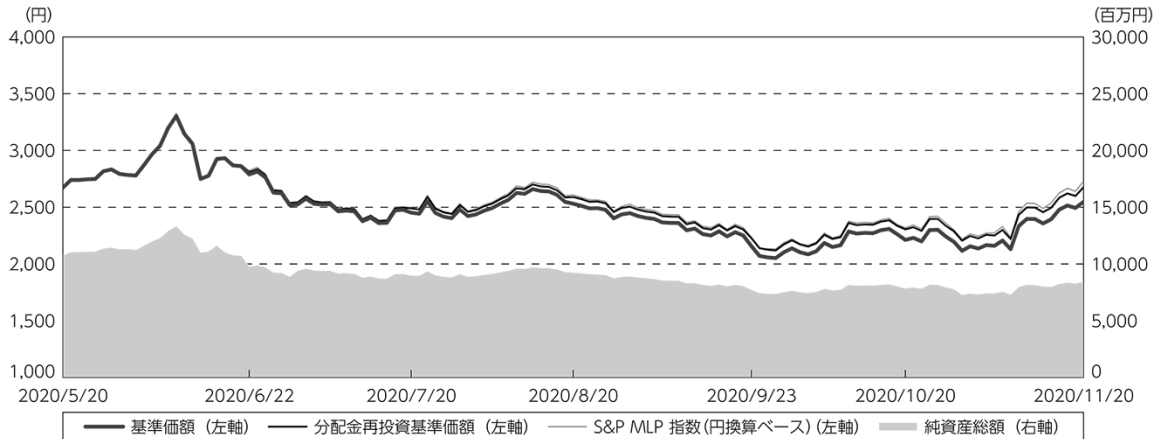
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「リミテッドパートナー（出資金）組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

（2020年5月21日～2020年11月20日）

## 作成期間中の基準価額等の推移



第77期首：2,673円

第82期末：2,547円（既払分配金（税込み）：120円）

騰落率：0.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびS&P MLP 指数（円換算ベース）は、作成期首（2020年5月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) S&P MLP 指数（円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

## ○基準価額の変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、MLP市場の動きをとらえる指数に連動する投資成果をめざして運用を行っております。当作成期間中における基準価額の変動要因は、以下の通りです。

## ＜値上がり要因＞

- ・ 経済活動再開に伴う需要回復や稼働リグ減少による供給抑制への期待などを受けて、原油価格が上昇したこと。
- ・ 概ね良好な経済指標や新型コロナウイルスのワクチン開発への期待の高まりから、株式市場が上昇したこと。
- ・ MLPの決算が概ね堅調だったこと。

### <値下がり要因>

- ・米国連邦公開市場委員会（FOMC）の声明を受けて米国の景気回復に対する不透明感が高まったこと。
- ・欧州や米国での新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒感や米国議会での追加景気刺激策を巡る協議の膠着などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・円高/アメリカドル安が進行したこと。

## 投資環境

### （MLP市況）

米国MLP市況において、S&P MLP 指数は期間の初めと比べて上昇しました。

期間の初めから2020年6月上旬にかけては、米国の経済活動再開に伴ない改善が現れた景気指標、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などを受けて株式市場が上昇したことや、経済活動再開に伴う需要回復や稼働リグ減少による供給抑制への期待、石油輸出国機構（OPEC）加盟国とそれ以外の主要産油国で構成するOPECプラス閣僚会合における協調減産継続の合意などを受けて原油価格が上昇したことなどを好感して、同指数は上昇しました。6月中旬から9月下旬にかけては、米国の低金利政策の長期化期待などから欧米主要国の長期金利が低下し、配当利回りが相対的に高いMLPの投資魅力が高まったことや、概ね堅調となったMLPの決算などがMLP価格の支援要因となったものの、FOMCの声明を受けて米国の景気回復に対する不透明感が強まったことや、欧州や米国での新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒感、米国大統領選挙を控えた新政権のエネルギー政策への不透明感、米国議会での追加景気刺激策を巡る協議の膠着などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどが重しとなり、同指数は下落しました。10月上旬から期間末にかけては、概ね良好な経済指標や新型コロナウイルスのワクチン開発への期待の高まりを受けた株式市場の上昇などを好感して、同指数は上昇しました。

### （国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.06%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.13%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.11%近辺で期間末を迎えました。

### （為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円/アメリカドルの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「インデックス マザーファンド MLP」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（インデックス マザーファンド MLP）

主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券に投資し、ベンチマークである「S&P MLP 指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、0.1%（分配金再投資ベース）の値上がりとなり、ベンチマークである「S&P MLP 指数（円換算ベース）」の上昇率2.1%を概ね2.0%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

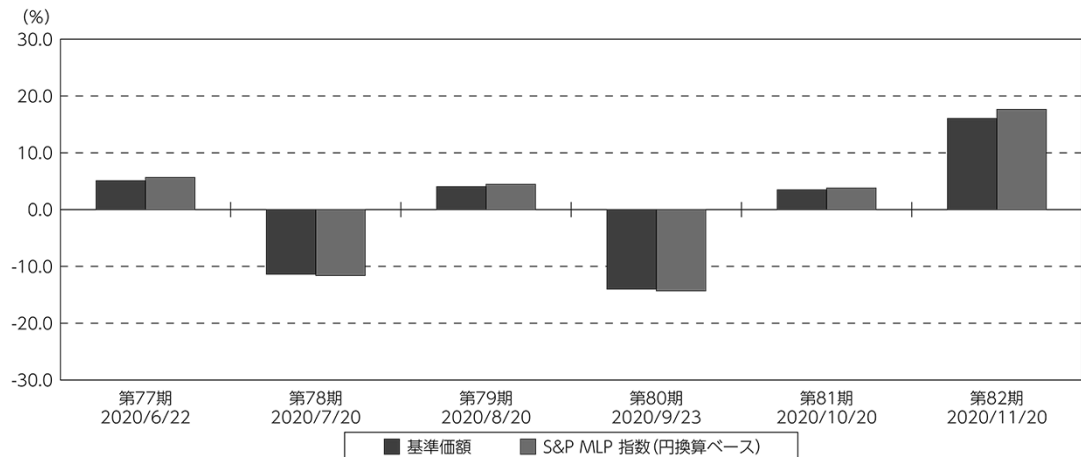
### <プラス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。

### <マイナス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。
- ・組入銘柄の配当金・分配金にかかる税金。
- ・海外コストディ・フィーや売買手数料などの諸費用。
- ・信託報酬などの諸費用。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) S&P MLP 指数（円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

## 分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2020年5月21日～ 2020年6月22日	2020年6月23日～ 2020年7月20日	2020年7月21日～ 2020年8月20日	2020年8月21日～ 2020年9月23日	2020年9月24日～ 2020年10月20日	2020年10月21日～ 2020年11月20日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.712%	0.809%	0.784%	0.919%	0.896%	0.779%
当期の収益	10	12	20	8	15	20
当期の収益以外	9	7	—	11	4	—
翌期繰越分配対象額	1,476	1,468	1,484	1,472	1,467	1,477

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「インデックス マザーファンド MLP」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（インデックス マザーファンド MLP）

引き続き、ベンチマークである「S&P MLP 指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券に投資する方針です。

また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年5月21日～2020年11月20日)

項 目	第77期～第82期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	10	0.416	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 5 )	(0.194)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 5 )	(0.194)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.090	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 1 )	(0.040)	
（リミテッドパートナー（出資金））	( 1 )	(0.050)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0 )	(0.000)	
（リミテッドパートナー（出資金））	( 0 )	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.223	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0 )	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	( 1 )	(0.040)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	( 4 )	(0.173)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	17	0.730	
作成期間の平均基準価額は、2,413円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

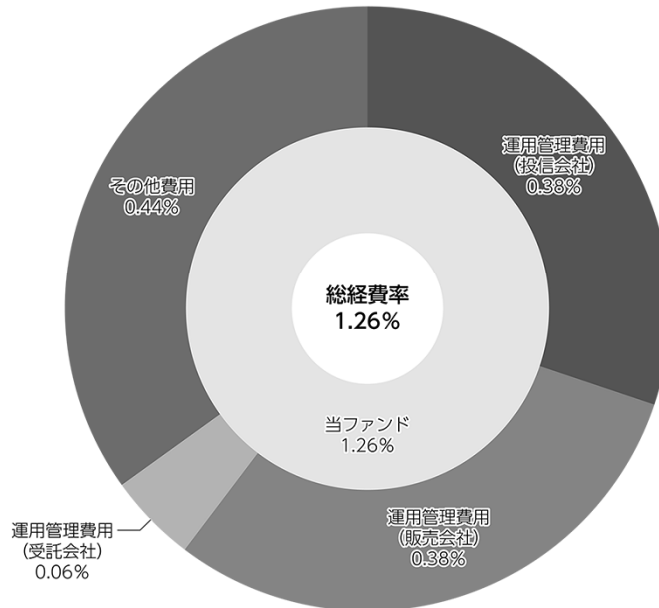
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年5月21日～2020年11月20日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第77期～第82期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
インデックス マザーファンド MLP	1,689,517	811,995	6,297,873	3,151,798
マネー・アカウント・マザーファンド	2,810	2,817	5,151	5,164

## ○株式売買比率

(2020年5月21日～2020年11月20日)

該当事項はございません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年5月21日～2020年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年5月21日～2020年11月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年5月21日～2020年11月20日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2020年11月20日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第76期末		第82期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
インデックス マザーファンド MLP			21,192,742		16,584,385	8,351,896
マネー・アカウント・マザーファンド			9,557		7,216	7,234

(注) 各親投資信託の2020年11月20日現在の受益権総口数は、以下の通りです。

・インデックス マザーファンド MLP 20,498,435千口 ・マネー・アカウント・マザーファンド 948,552千口

## ○投資信託財産の構成

(2020年11月20日現在)

項	目	第82期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
インデックス マザーファンド MLP		8,351,896	97.8
マネー・アカウント・マザーファンド		7,234	0.1
コール・ローン等、その他		178,825	2.1
投資信託財産総額		8,537,955	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) インデックス マザーファンド MLPにおいて、当作成期末における外貨建純資産(10,299,956千円)の投資信託財産総額(10,408,815千円)に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=103.88円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末
	2020年6月22日現在	2020年7月20日現在	2020年8月20日現在	2020年9月23日現在	2020年10月20日現在	2020年11月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	10,581,130,621	9,121,563,459	9,318,674,830	7,801,049,886	7,933,124,744	8,537,955,402
コール・ローン等	95,122,577	94,122,317	119,489,897	91,296,479	89,615,952	95,292,841
インデックスマザーファンドMLP(評価額)	9,650,449,696	8,868,965,855	9,119,670,962	7,620,961,068	7,756,674,379	8,351,896,487
マネー・アカウンツ・マザーファンド(評価額)	10,208,776	8,561,620	8,793,388	8,107,783	7,345,376	7,234,266
未収入金	825,349,572	149,913,667	70,720,583	80,684,556	79,489,037	83,531,808
(B) 負債	815,069,137	162,214,313	97,251,863	94,463,201	94,643,180	104,334,394
未払収益分配金	70,022,166	73,088,264	72,880,249	71,470,281	70,880,879	66,228,453
未払解約金	730,694,546	76,813,129	10,642,633	8,419,535	10,671,468	24,289,901
未払信託報酬	8,502,934	5,805,156	6,468,142	6,552,819	4,728,286	5,449,648
未払利息	119	89	120	72	45	48
その他未払費用	5,849,372	6,507,675	7,260,719	8,020,494	8,362,502	8,366,344
(C) 純資産総額(A-B)	9,766,061,484	8,959,349,146	9,221,422,967	7,706,586,685	7,838,481,564	8,433,621,008
元本	35,011,083,342	36,544,132,250	36,440,124,907	35,735,140,651	35,440,439,753	33,114,226,535
次期繰越損益金	△25,245,021,858	△27,584,783,104	△27,218,701,940	△28,028,553,966	△27,601,958,189	△24,680,605,527
(D) 受益権総口数	35,011,083,342口	36,544,132,250口	36,440,124,907口	35,735,140,651口	35,440,439,753口	33,114,226,535口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,789円	2,452円	2,531円	2,157円	2,212円	2,547円

(注) 当ファンドの第77期首元本額は40,166,779,878円、第77～82期中追加設定元本額は4,421,299,436円、第77～82期中一部解約元本額は11,473,852,779円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第77期0.2789円、第78期0.2452円、第79期0.2531円、第80期0.2157円、第81期0.2212円、第82期0.2547円です。

(注) 2020年11月20日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は24,680,605,527円です。

## ○損益の状況

項 目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2020年5月21日～ 2020年6月22日	2020年6月23日～ 2020年7月20日	2020年7月21日～ 2020年8月20日	2020年8月21日～ 2020年9月23日	2020年9月24日～ 2020年10月20日	2020年10月21日～ 2020年11月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 5,009	△ 2,357	△ 1,981	△ 4,006	△ 1,234	△ 1,388
支払利息	△ 5,009	△ 2,357	△ 1,981	△ 4,006	△ 1,234	△ 1,388
(B) 有価証券売買損益	470,770,668	△ 1,096,968,179	365,123,549	△ 1,256,622,466	271,484,637	1,180,976,538
売買益	609,348,984	23,013,629	368,947,067	13,971,529	276,046,559	1,203,130,430
売買損	△ 138,578,316	△ 1,119,981,808	△ 3,823,518	△ 1,270,593,995	△ 4,561,922	△ 22,153,892
(C) 信託報酬等	△ 9,533,569	△ 6,508,794	△ 7,252,138	△ 7,347,080	△ 5,105,232	△ 5,478,699
(D) 当期損益金(A+B+C)	461,232,090	△ 1,103,479,330	357,869,430	△ 1,263,973,552	266,378,171	1,175,496,451
(E) 前期繰越損益金	△ 12,381,524,289	△ 11,731,280,223	△ 12,746,794,373	△ 12,164,213,919	△ 13,324,579,360	△ 12,191,221,789
(F) 追加信託差損益金	△ 13,254,707,493	△ 14,676,935,287	△ 14,756,896,748	△ 14,528,896,214	△ 14,472,876,121	△ 13,598,651,736
(配当等相当額)	( 5,137,149,090)	( 5,364,649,281)	( 5,349,493,927)	( 5,246,718,663)	( 5,203,663,143)	( 4,860,795,462)
(売買損益相当額)	(△ 18,391,856,583)	(△ 20,041,584,568)	(△ 20,106,390,675)	(△ 19,775,614,877)	(△ 19,676,539,264)	(△ 18,459,447,198)
(G) 計(D+E+F)	△ 25,174,999,692	△ 27,511,694,840	△ 27,145,821,691	△ 27,957,083,685	△ 27,531,077,310	△ 24,614,377,074
(H) 収益分配金	△ 70,022,166	△ 73,088,264	△ 72,880,249	△ 71,470,281	△ 70,880,879	△ 66,228,453
次期繰越損益金(G+H)	△ 25,245,021,858	△ 27,584,783,104	△ 27,218,701,940	△ 28,028,553,966	△ 27,601,958,189	△ 24,680,605,527
追加信託差損益金	△ 13,254,707,493	△ 14,676,935,287	△ 14,756,896,748	△ 14,528,896,214	△ 14,474,309,961	△ 13,598,651,736
(配当等相当額)	( 5,137,560,636)	( 5,364,738,196)	( 5,349,955,470)	( 5,246,856,137)	( 5,202,303,460)	( 4,861,017,742)
(売買損益相当額)	(△ 18,392,268,129)	(△ 20,041,673,483)	(△ 20,106,852,218)	(△ 19,775,752,351)	(△ 19,676,613,421)	(△ 18,459,669,478)
分配準備積立金	32,238,420	2,733,158	58,165,728	16,138,696	-	31,311,395
繰越損益金	△ 12,022,552,785	△ 12,910,580,975	△ 12,519,970,920	△ 13,515,796,448	△ 13,127,648,228	△ 11,113,265,186

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2020年5月21日～2020年11月20日）は以下の通りです。

項 目	2020年5月21日～ 2020年6月22日	2020年6月23日～ 2020年7月20日	2020年7月21日～ 2020年8月20日	2020年8月21日～ 2020年9月23日	2020年9月24日～ 2020年10月20日	2020年10月21日～ 2020年11月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	36,063,752円	44,279,468円	128,346,921円	30,832,264円	53,517,649円	97,539,848円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	5,137,560,636円	5,364,738,196円	5,349,955,470円	5,246,856,137円	5,203,737,300円	4,861,017,742円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	66,196,834円	31,541,954円	2,699,056円	56,776,713円	15,929,390円	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	5,239,821,222円	5,440,559,618円	5,481,001,447円	5,334,465,114円	5,273,184,339円	4,958,557,590円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,496円	1,488円	1,504円	1,492円	1,487円	1,497円
g. 分配金	70,022,166円	73,088,264円	72,880,249円	71,470,281円	70,880,879円	66,228,453円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○分配金のお知らせ

---

	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2020年5月21日から2020年11月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

# インデックス マザーファンド MLP

## 運用報告書

第7期（決算日 2020年11月20日）  
（2019年11月21日～2020年11月20日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2014年2月18日から原則無期限です。
運用方針	主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）やMLPに関連する証券に投資し、MLP市場の動きをとらえる指数（S&P MLP 指数（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	MLPやMLPに関連する証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ファンド概要

主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券に投資し、MLP市場の動きをとらえる指数（S&P MLP 指数（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。対象指数の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性を勘案し、委託者の判断により決定するものとします。

運用にあたって、対象指数に採用されていないMLPなどについても、運用目的を達成するために有用であると判断される場合は投資を行ないます。また、対象指数に採用されているMLPなどの一部または全部の値動きに連動をめざす上場投資信託証券や債券などに投資する場合があります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<637195>



## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		S & P MLP 指数 (円換算ベース)		債 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	リミテッドパートナー (出資金) 組 入 比 率	純 資 産 額
	騰 落	率	(ベンチマーク) 騰 落	率				
	円	%		%	%	%	%	百万円
3期(2016年11月21日)	8,073	△ 7.4	85.97	△ 3.9	72.4	—	18.9	72,757
4期(2017年11月20日)	7,519	△ 6.9	81.24	△ 5.5	65.3	—	23.9	50,319
5期(2018年11月20日)	7,732	2.8	85.08	4.7	55.2	—	35.9	31,258
6期(2019年11月20日)	6,581	△14.9	73.59	△13.5	52.0	—	39.4	22,310
7期(2020年11月20日)	5,036	△23.5	54.30	△26.2	44.1	11.7	43.3	10,324

(注)「S&P MLP 指数」は、ニューヨーク証券取引所やNASDAQなどに上場するMLPなどのうち、GICS（世界産業分類基準）においてエネルギーセクターまたは公益事業セクターのガス産業に属する銘柄を対象とした、浮動株調整後の時価総額加重を基本とする指数です。同指数の（円換算ベース）とは、日興アセットマネジメントが公表指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2020年11月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		S & P MLP 指数 (円換算ベース)		債 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	リミテッドパートナー (出資金) 組 入 比 率
	騰 落	率	(ベンチマーク) 騰 落	率			
(期首) 2019年11月20日	円	%		%	%	%	%
	6,581	—	73.59	—	52.0	—	39.4
11月末	6,809	3.5	76.14	3.5	52.2	—	39.3
12月末	7,358	11.8	82.10	11.6	50.7	—	42.6
2020年1月末	6,953	5.7	77.82	5.8	55.3	—	33.6
2月末	5,976	△ 9.2	66.04	△10.3	49.0	—	41.0
3月末	3,131	△52.4	33.29	△54.8	36.5	19.2	44.0
4月末	4,912	△25.4	51.93	△29.4	34.0	22.8	42.6
5月末	5,245	△20.3	55.74	△24.2	33.5	22.8	43.7
6月末	4,772	△27.5	50.70	△31.1	39.7	16.1	43.4
7月末	4,617	△29.8	49.09	△33.3	40.3	14.8	43.9
8月末	4,707	△28.5	50.28	△31.7	40.6	15.4	43.3
9月末	4,144	△37.0	44.20	△39.9	41.5	14.1	43.9
10月末	4,219	△35.9	45.08	△38.7	43.0	13.4	42.7
(期末) 2020年11月20日	5,036	△23.5	54.30	△26.2	44.1	11.7	43.3

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2019年11月21日～2020年11月20日)

## 基準価額の推移

期間の初め6,581円の基準価額は、期間末に5,036円となり、騰落率は△23.5%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・経済活動の再開、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などを受けた株式市場の上昇が好感されたこと。
- ・MLPの決算が概ね堅調となったこと。
- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）による緊急資金供給策の発表などを背景に、米国の長期金利が低下したこと（2020年3月下旬～6月上旬）。

## &lt;値下がり要因&gt;

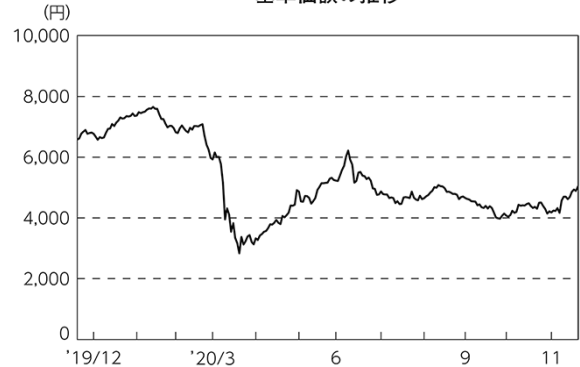
- ・新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした世界的な景気減速から原油需要が抑制されるとの懸念などを受けて、原油価格が下落したこと。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大や市場予想を下回る経済指標を受けた米国景気の下振れ懸念、米国議会での追加景気刺激策を巡る協議の膠着などから、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・円高／アメリカドル安が進行したこと。

## (MLP市況)

米国MLP市況において、S&P MLP 指数は期間の初めと比べて下落しました。

期間の初めから2020年1月上旬にかけては、石油輸出機構（OPEC）加盟国とロシアなど主要産油国による協調減産拡大での合意などを受けて原油価格が堅調に推移したことや、米中貿易協議での「第1段階」とされる部分合意や英国の総選挙での与党保守党の大勝などから主要な政治的不透明感が後退し、投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどから、同指数は上昇しました。1月中旬から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした世界的な景気減速から原油需要が抑制されるとの懸念や、OPEC月報での2020年の世界の原油需要見通しの下方修正などが重しとなり原油価格が下落したことや、新型コロナウイルスの感染拡大や市場予想を下回る経済指標を受けた米国景気の下振れ懸念などを背景に株式市場が下落し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、同指数は下落しました。3月下旬から6月上旬にかけては、新型コロナウイルスの感染者数の増加ペースの鈍化や経済活動の再開、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などから株式市場が上昇し、投資家のリスク選好姿勢が強まったことや、欧米諸国での活動制限を緩和する動きを受けた原油需要回復への期待、OPEC加盟国とそれ以外の主要産油国で構成するOPEC

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2019/11/20	2020/01/17	2020/03/19	2020/11/20
6,581円	7,654円	2,837円	5,036円

プラス閣僚会合における協調減産継続の合意などを受けて原油価格が上昇したこと、FRBによる緊急資金供給策の発表などを背景に米国の長期金利が低下したことなどを好感して、同指数は上昇しました。6月中旬から期間末にかけては、概ね良好な経済指標や新型コロナウイルスのワクチン開発への期待の高まりを受けた株式市場の上昇、堅調となったMLPの決算などを好感して同指数が上昇する局面も見られたものの、米国連邦公開市場委員会（FOMC）の声明を受けて米国の景気回復に対する不透明感が強まったことや、欧州や米国での新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒感、米国議会での追加景気刺激策を巡る協議の膠着などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、同指数は下落しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



## ポートフォリオ

主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券に投資し、ベンチマークである「S&P MLP 指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、23.5%の値下がりとなり、ベンチマークである「S&P MLP 指数（円換算ベース）」の下落率26.2%を概ね2.7%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

<プラス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。

<マイナス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。
- ・組入銘柄の配当金・分配金にかかる税金。
- ・海外カストディ・フィーや売買手数料などの諸費用。

基準価額とベンチマーク（指数化）の推移



## ○今後の運用方針

---

引き続き、ベンチマークである「S&P MLP 指数 (円換算ベース)」に連動する投資成果をめざし、主として、米国の金融商品取引所に上場されているMLPやMLPに関連する証券に投資する方針です。

また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年11月21日～2020年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 ) (リミテッドパートナー (出資金))	円 16 ( 7 ) ( 9 )	% 0.308 (0.134) (0.174)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 投 資 信 託 証 券 ) (リミテッドパートナー (出資金))	0 ( 0 ) ( 0 )	0.002 (0.000) (0.001)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	10 ( 1 ) ( 9 )	0.195 (0.018) (0.177)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	26	0.505	
期中の平均基準価額は、5,236円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年11月21日～2020年11月20日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券 (投資法人債券を含む)	千アメリカドル 17,343	千アメリカドル 50,499 ( 2,303)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	ALERIAN MLP ETF-ETF	5,453 (△4,237)	22,428 ( - )	755	19,125

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ( )内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## リミテッドパートナー（出資金）

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千アメリカドル	口	千アメリカドル
		4,271,428	59,725	4,681,240 ( 164,000)	82,653 ( 3,077)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ( )内は分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2019年11月21日～2020年11月20日)

該当事項はございません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年11月21日～2020年11月20日)

## 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 112	百万円 112	% 100.0	百万円 112	百万円 112	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年11月21日～2020年11月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○組入資産の明細

(2020年11月20日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 128,172	千アメリカドル 43,844	千円 4,554,572	% 44.1	% —	% 35.0	% 9.2	% —
合 計	128,172	43,844	4,554,572	44.1	—	35.0	9.2	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末				
	利 率	額面金額	評 価 額		償 還 年 月 日
		千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
(アメリカ) 普通社債券(含む投資法人債券)	%				
CS S&P MLP IDX-ETN	—	26,900	8,319	864,198	2034/12/4
ETRACS ALERIAN INF-ETN	—	18,500	8,691	902,852	2040/4/2
IPATH S&P MLP-ETN	—	22,965	8,806	914,775	2042/12/15
JPM ALERIAN MLP INDX-ETN	—	12,392	9,100	945,409	2024/5/24

銘 柄	当 期 末				
	利 率	額面金額	評 価 額		償 還 年 月 日
		千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
(アメリカ) 普通社債券(含む投資法人債券)	%				
MS CUSHING MLP INDX-ETN	—	47,413	8,926	927,336	2031/3/21
合 計				4,554,572	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## 外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ) ALERIAN MLP ETF-ETF	—	460	11,619	1,207,044	11.7	
合 計	—	460	11,619	1,207,044	—	
	口 数 ・ 金 額	口 数	—	<11.7%>		
	銘 柄 数 < 比率 >	1	—			

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## リミテッドパートナー（出資金）

銘柄	期首(前期末)		当期		期末		比率
	口数	口数	評価額		外貨建金額	邦貨換算金額	
			千アメリカドル	千円			
(アメリカ)	口	口					%
BLACK STONE MINERALS-LP	83,000	308,000	2,263	235,163			2.3
BP MIDSTREAM PARTNERS LP -LP	6,000	72,000	787	81,824			0.8
CRESTWOOD EQUITY PARTNERS LP-LP	23,000	26,000	424	44,051			0.4
DCP MIDSTREAM LP-LP	13,000	52,000	850	88,372			0.9
ENERGY TRANSFER-LP	1,481,400	983,000	6,015	624,937			6.1
ENLINK MIDSTREAM LLC-LLC	281,600	179,000	671	69,729			0.7
ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS-LP	725,400	458,000	8,880	922,518			8.9
ENVIVA PARTNERS LP	-	30,000	1,324	137,589			1.3
EQM MIDSTREAM PARTNERS LP	14,000	-	-	-			-
GASLOG PARTNERS-LP	19,000	-	-	-			-
GENESIS ENERGY L.P. -LP	45,000	91,000	554	57,569			0.6
HOLLY ENERGY PARTNERS LP-LP	-	27,000	346	36,041			0.3
HOEGH LNG PARTNERS LP-LP	13,000	-	-	-			-
MAGELLAN MIDSTREAM PARTNERS-LP	207,000	66,000	2,772	287,955			2.8
MPLX LP-LP	201,240	45,000	956	99,335			1.0
NGL ENERGY PARTNERS LP-LP	11,000	68,000	193	20,061			0.2
NOBLE MIDSTREAM PARTNERS-LP	-	3,000	27	2,892			0.0
NUSTAR ENERGY LP	34,850	60,000	792	82,335			0.8
PHILLIPS 66 PARTNERS LP-LP	43,000	13,000	344	35,827			0.3
PLAINS GP HOLDINGS LP-CL A-LP	180,647	315,000	2,592	269,303			2.6
PLAINS ALL AMERICAN PIPELINE LP	293,000	-	-	-			-
SHELL MIDSTREAM PARTNERS-LP	61,000	74,000	731	76,025			0.7
SUBURBAN PROPANE PARTNERS LP-LP	45,000	109,000	1,767	183,657			1.8
SUNOCO LP-LP	9,000	92,000	2,663	276,673			2.7
TALLGRASS ENERGY-LP	97,000	-	-	-			-
TC PIPELINES LP-LP	33,000	36,000	1,078	112,040			1.1
TEEKAY LNG PARTNERS LP-LP	51,000	75,000	897	93,258			0.9
USA COMPRESSION PARTNERS LP-LP	8,000	70,000	837	86,968			0.8
WESTERN MIDSTREAM PARTNERS L-LP	140,675	86,000	1,169	121,498			1.2
CHENIERE ENERGY PARTNERS LP-LP	18,000	41,000	1,578	163,974			1.6
ALLIANCE RESOURCE PARTNERS-LP	56,519	186,519	757	78,664			0.8
GOLAR LNG PARTNERS LP-LP	47,000	-	-	-			-
RATTLER MIDSTREAM-LP	20,000	63,000	525	54,580			0.5
VIPER ENERGY PARTNERS-LP	64,000	123,000	1,236	128,411			1.2
合計	口数・金額	4,325,331	3,751,519	43,042	4,471,261		
	銘柄数<比率>	31	28	-	<43.3%>		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。



## ○投資信託財産の構成

(2020年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	4,554,572	43.8
投資信託受益証券	1,207,044	11.6
リミテッドパートナー（出資金）	4,471,261	43.0
コール・ローン等、その他	175,938	1.6
投資信託財産総額	10,408,815	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（10,299,956千円）の投資信託財産総額（10,408,815千円）に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=103.88円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	10,408,815,824	
コール・ローン等	114,459,396	
公社債(評価額)	4,554,572,892	
投資信託受益証券(評価額)	1,207,044,048	
リミテッドパートナー(出資金)(評価額)	4,471,261,874	
未収配当金	61,477,614	
(B) 負債	84,783,460	
未払解約金	84,783,405	
未払利息	55	
(C) 純資産総額(A-B)	10,324,032,364	
元本	20,498,435,685	
次期繰越損益金	△10,174,403,321	
(D) 受益権総口数	20,498,435,685口	
1万口当たり基準価額(C/D)	5,036円	

(注) 当ファンドの期首元本額は33,902,281,564円、期中追加設定元本額は12,880,323,048円、期中一部解約元本額は26,284,168,927円です。

(注) 2020年11月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・インデックスファンドMLP(毎月分配型) 16,584,385,400円  
 ・インデックスファンドMLP(1年決算型) 3,914,050,285円

(注) 1口当たり純資産額は0.5036円です。

(注) 2020年11月20日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は10,174,403,321円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○お知らせ

## 約款変更について

2019年11月21日から2020年11月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

## ○損益の状況 (2019年11月21日～2020年11月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	1,500,292,982	
受取配当金	569,118,068	
受取利息	631,557,522	
その他収益金	299,753,877	
支払利息	△ 136,485	
(B) 有価証券売買損益	△ 3,661,596,814	
売買益	1,997,376,089	
売買損	△ 5,658,972,903	
(C) 保管費用等	△ 25,219,166	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,186,522,998	
(E) 前期繰越損益金	△11,591,498,353	
(F) 追加信託差損益金	△ 6,121,215,231	
(G) 解約差損益金	9,724,833,261	
(H) 計(D+E+F+G)	△10,174,403,321	
次期繰越損益金(H)	△10,174,403,321	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

# マネー・アカウント・マザーファンド

## 運用報告書

第11期（決算日 2020年10月12日）  
（2019年10月16日～2020年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

## ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
7期(2016年10月12日)	円		%	%	百万円
	10,042		△0.0	—	483
8期(2017年10月12日)	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595
10期(2019年10月15日)	10,028		△0.0	—	586
11期(2020年10月12日)	10,025		△0.0	—	888

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円		%
2019年10月15日	10,028		—
10月末	10,028		0.0
11月末	10,027		△0.0
12月末	10,027		△0.0
2020年1月末	10,027		△0.0
2月末	10,027		△0.0
3月末	10,026		△0.0
4月末	10,026		△0.0
5月末	10,026		△0.0
6月末	10,026		△0.0
7月末	10,025		△0.0
8月末	10,025		△0.0
9月末	10,025		△0.0
(期 末)			
2020年10月12日	10,025		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2019年10月16日～2020年10月12日)

## 基準価額の推移

期間の初め10,028円の基準価額は、期間末に10,025円となり、騰落率は△0.0%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.01%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.02%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.29%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.09%近辺で期間末を迎えました。

## ポートフォリオ

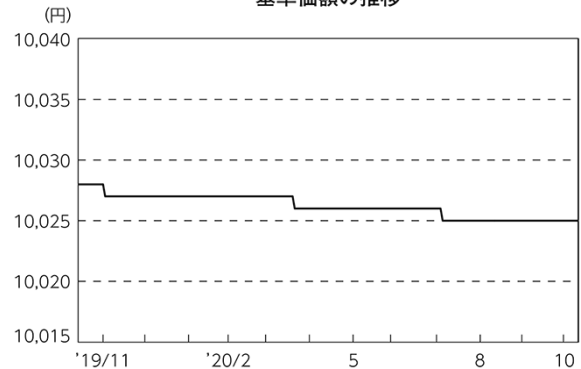
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## ○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2019/10/15	2019/10/16	2020/07/06	2020/10/12
10,028円	10,028円	10,025円	10,025円

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年10月16日～2020年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,026円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年10月16日～2020年10月12日)

該当事項はございません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年10月16日～2020年10月12日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
金銭信託	百万円 361	百万円 361	% 100.0	百万円 361	百万円 361	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年10月16日～2020年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○組入資産の明細

(2020年10月12日現在)

2020年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2020年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 888,950	% 100.0
投資信託財産総額	888,950	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年10月12日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A)	資産			888,950,866
	コール・ローン等			888,950,866
(B)	負債			185,817
	未払解約金			185,618
	未払利息			199
(C)	純資産総額(A-B)			888,765,049
	元本			886,572,186
	次期繰越損益金			2,192,863
(D)	受益権総口数			886,572,186口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,025円

(注) 当ファンドの期首元本額は585,356,899円、期中追加設定元本額は443,707,365円、期中一部解約元本額は142,492,078円です。

(注) 2020年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	564,936,421円	・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	894,225円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	179,574,045円	・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	876,496円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マナー・ブルファンド)	16,871,891円	・インデックスファンドMLP(1年決算型)	837,936円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	16,766,944円	・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	759,593円
・エマージング・プラス(マナー・ブルファンド)	10,195,083円	・日興グラビティ・ファンド	685,725円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	10,189,082円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	549,122円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	8,406,295円	・グローバルCOC債ファンド 新興国高金利通貨コース	467,512円
・世界標準債券ファンド	7,424,643円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	347,673円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	7,327,059円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	318,532円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	6,785,094円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	315,849円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	6,677,636円	・グローバルCOC債ファンド 先進国高金利通貨コース	288,963円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	120,020円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	5,964,682円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・グローバルCOC債ファンド 円ヘッジコース	5,750,110円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	80,294円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	4,831,451円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	57,611円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	3,932,333円	・グローバル株式トップフォーカス	41,826円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド(1年決算型)	3,237,572円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2,510,659円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,316,490円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・グリーン世銀債ファンド	2,244,601円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	18,822円
・SMBC・日興 世銀債ファンド	1,761,404円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	1,402,012円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・エマージング・プラス・円戦略コース	1,267,559円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	1,132,669円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・日興マナー・アカウント・ファンド	1,120,004円		
・グローバルCOC債ファンド ヘッジなしコース	1,108,192円		

(注) 1口当たり純資産額は1.0025円です。



## ○損益の状況

(2019年10月16日～2020年10月12日)

項	目	当	期
(A) 配当等収益			円
	受取利息	△	201,655
	支払利息		491
(B) 保管費用等		△	202,146
(C) 当期損益金(A+B)		△	202,744
(D) 前期繰越損益金			1,615,569
(E) 追加信託差損益金			1,156,878
(F) 解約差損益金		△	376,840
(G) 計(C+D+E+F)			2,192,863
	次期繰越損益金(G)		2,192,863

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○お知らせ

## 約款変更について

2019年10月16日から2020年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。